



▲野添であい公園のアジサイ

爽やかな季節はあっという間。先日、紫陽花が青や紫色に咲いているのを見かけました。気温と湿度がグンと上がり、気がつけばもう梅雨ですね。命を育む「恵みの雨」は必要ですが、大雨には気をつけなければなりません。播磨町も災害に備え万全の体制を整えています。みなさまも日頃からの備えをよろしくお願いたします。

▶5月18日、「はりまの海きつずチャレンジ」でたくさん子どもたちがふるさとはりまの海でいろんな体験をしました。私も幼少の頃に、この海で魚釣りや貝採りなど様々な体験をし、たくさんのお話を学びました。海はわがまちの財産です。これからも守り続け、そしてより一層発展させていきたいと思っております。初夏を思わせる日差しの中で、海のふれあい事業が安全に実施できたのは、多くの方々のご配慮があったからです。係留施設の指定管理者、漁業組合、海上保安署、海藻おしぼ協会、ひょうご豊かな海づくり協会など、関係者のみなさまに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

▶今年も、夏休みにたくさん行事が開催されます。工作やものづくり体験、勉強や運動の教室から、キャンプや講座、おまつり等楽しいイベントがいっぱい！是非ご参加いただき、この夏もいろんな経験をして、たくさん思い出を残してくださいね。みなさんの挑戦を応援します！

▶蒸し暑い時季になりました。熱中症にご注意ください。今年から一部の公共施設をクーリングシェルターとして指定したり、小学校にウォータークーラーを設置したりするなど対策を強化します。熱中症は命に関わるおそろしい健康障害です。正しい知識と情報で、適切な予防行動をお願いします。外出先で体調に異変を感じたら、迷わずクーリングシェルターや近くの涼しい場所に避難してください。クーリングシェルターはのぼりや看板が目印です。是非ご利用ください。

播磨町長 佐伯 謙作

加古川保護区保護司会播磨町ブロック

第74回“社会を明るくする運動”

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」の推進に当たって、7月は全国一斉「社会を明るくする運動」強調月間、「再犯防止啓発月間」です。「社会を明るくする運動」は今年で74回目となります。

犯罪や非行のない明るい社会を築くためには、孤独・孤立をはじめとした「生きづらさ」は、犯罪や非行をした人だけではなく、誰もが当事者として抱える問題であるという理解が必要があります。その上で、「人は変わる」ことを信じ、希望をもって「変わる」時間を待つことも必要です。そのためには、「立ち直り」を見守り、支え合う地域社会の実現や、人々

に宿る「地域のチカラ」が必要不可欠です。

播磨町では、再犯防止の取り組みを推進するため、「播磨町再犯防止推進計画」が策定され、令和6年度から力強く始動しております。今後、当町の再犯防止と更生保護の取組み、そして保護司会の更生保護活動が両輪となって「明るい社会」の実現を力強く推進してまいります。「地域のチカラ」の輪の更なる広がりに向け、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

7月1日(月)には土山駅、播磨町駅周辺で、「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支えるのは地域のチカラ」をキャッチフレーズに、街頭

啓発活動を実施します。皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※加古川保護区保護司会播磨町ブロックの紹介

浅原 奈緒子 (南野添)	井上 浩義 (古田)	植森 真奈 (上野添)	大北 良子 (南大中)	近藤 龍樹 (二子)	水野 洋子 (本荘)	藤澤 輝雄 (古宮)	藤原 清尚 (野添)	諸鹿 良治 (古宮)	吉野 雅文 (西野添)
--------------	------------	-------------	-------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------

楽屋裏

7月から、「はりま生き生き*健康ポイント」がLINEでも集められるようになります。(p.26参照)

新しい機能が増えていく播磨町公式LINEですが、受け取れていますか？まだの人は、QRコードをスマートフォンで読み込んで友だち登録をお願いします。ごみの収集日通知機能で出し忘れを防止したり、学校給食の献立表を毎日の献立の参考にしたり、なかなか便利ですよ。(宮)



県立東はりま特別支援学校

高等部 春の遠足

4月23日は高等部の春の遠足があり、スクールバス7台に乗って高砂海浜公園に行きました。



▲クラス対抗ビーチフラッグ

天気予報では、「曇りのち雨」ということで、「今日遠足あるんですか？」と心配そうに質問してくる子どもたちも多くいました。実施の可否にかなり悩みましたが決行し、「何とか天気が持ちますように…」と祈りながら出発しました。

幸いにも雨に降られることなく、それぞれの学年、クラスで時間いっぱい活動しました。砂浜でクラス対抗のビーチフラッグをする学年や輪をつくってボール遊びをするクラス、橋を渡って少し離れた高砂向島までのんびり散歩するクラスなど、それぞれに活動を楽しみました。

新年度が始まって初めての大きな学部行事。新しいクラスメイトや先生たちと一緒に過ごし、友だちや先生との絆を深める時間となりました。

兵庫県立大学の学生が播磨町でフィールドワーク中です

まちづくりを進める際、「若者の活躍」という話を耳にすることが多くあります。最近ではユース世代と呼ばれる10から20代の若者の活動支援が広がっています。支援の一つとして、例えば、全国各地にユースセンターが設置されるなど、若者の居場所づくりが推進されています。

播磨町でも、令和5年度にこども議会を開催したり、まちづくりパートナー事業に教育機関向けの枠を設けるなど、ユース世代の地域活動を応援しています。

今回、兵庫県立大学環境人間学部2年生の約20名が5から7月にかけて授業の一環で、播磨町でフィールドワークを行なうこととなりました。フィールドワークは2グループに分かれており、一つは「播磨町の空き家」をテーマに、もう1グループは「播磨町の中高生の居場所づくり」をテーマに調査しています。キックオフミーティングでは、平野副町長より播磨町の現状や



▲キックオフの様子

特徴をお話し、早速グループに分かれて、町内の各所で調査を進めています。もしかすると調査でお声がけされていたことがあってもかもしれません。ぜひ播磨町のことを学生の皆さんに教えてあげてください。学生の目から見る播磨町がどんな様子だったかは、今後の広報はりまにてお知らせ予定です。

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちアド通信

協働推進課住民協働係
☎079-4351236 4

まちづくりアドバイザーがお届けする